

# 令和7年度 学校経営方針

## 1. 学校経営理念

人間尊重の精神を基本とし、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指し、学校、家庭、地域が一体となって、一人一人の児童を大切に、保護者、地域から信頼される学校づくりを推進する。

## 2. 学校教育目標

「心豊かで、たくましく生きる子どもの育成」

【校訓】 かしこく・なかよく・たくましく

## 3. めざす姿

### (1) めざす児童のすがた

#### ◇知 よく考えやりぬく子

##### ・人の話をしっかり聞（聴）ける子

- ・学ぶことの楽しさや意義を理解し、主体的に学ぶ子
- ・人やもの、こととかわり、自分の考えを形成し表現できる子
- ・自ら課題を見つけ、よりよくかつ粘り強く問題を解決する子

#### ◇徳 心豊かな子

##### ・思いやりの心を持ち、自他を大切にする子

- ・人の気持ちや考え・立場が理解できる子
- ・礼儀正しく、物事にけじめを持ち、ルールを守り、協力できる子
- ・自分たちの学校・学級をよりよくしようと目標を立て、協力、協同して達成していこうとする子

#### ◇体 たくましい子

##### ・夢や目標を持って、あきらめない子

- ・自らの健康を考え、よりよい生活習慣を身につける子
- ・自ら進んで心身を鍛え、健康を意識して生活する子
- ・安全に対する意識を持ち判断できる子

### (2) めざす教職員のすがた

#### ◇子どもを認め、ほめ、可能性を伸ばす教職員

子どもを取り巻く人的環境や様々な背景に目を向け、子ども一人一人を大切しながら、子どもの内面の変化に気づき、対応する姿勢をもつとともに、子どもを認め、ほめ、励まし、勇気づけ、ねぎらい、子どもの可能性を伸ばす適切な指導を図り、子どもたちに自己存在感や自己有用感を感じさせ、自己肯定感を高めることができるように努める教職員。

#### ◇資質能力を高めるために学び続ける教職員

互いに個性や特性を發揮しあい、日々の授業改善や指導力向上等の研鑽に励み、資質能力を高めるために学び続ける教職員。

#### ◇心の通い合う人間関係を構築する教職員

心の通い合う望ましい人間関係を構築し、温かく明るく活気に満ちた、意欲のある生き生きとした教職員。

#### ◇チームとして取り組む教職員

報告・連絡・相談を常に心がけ、一人で悩んだり抱え込んだりせず、外部機関とも積極的に連携を取りながら、問題や課題等に対してチームとして取り組む教職員。

#### ◇保護者・地域の信頼や期待に応え、自覚ある行動に努める教職員

#### ◇子どもに求めることを、自らも範を示せる教職員

### (3) めざす学校像

◇「学校に行くのが楽しい、この学校に通わせたい、そんな思いにさせるような学校」

◇「学校・家庭・地域との連携を高め、児童一人一人を大切に、信頼される学校」

## 4. 中期的目標

※ グランドデザインに掲載

## 5. 本年度の主な取組及び重点

### (1) 「確かな学力」の定着と個に応じた指導

- ・学校研究を柱とし、「学習の構え」「聞き方(うめライス)・話し方」の定着や「大徳まなびのスタイル」を基本とした学習展開により、主体的に課題を発見し解決方法を考えとともに、積極的に友だちと考えを聴き合い、伝え合うことで、主体的、対話的で深い学びを追求する。
- ・少人数指導や個別指導、T・T指導、教科担任制等を生かし、より効果的な指導方法や指導体制の工夫を図る。
- ・各教科、特別活動、総合的な学習の時間、外国語(活動)において言語活動を大切にしたい取り組みを図り、読解力やコミュニケーション能力の育成に努める。
- ・ICTを効果的に活用した授業及びデジタル科の授業の充実するとともに、デジタルとリアルの有効な両立を工夫する。

### (2) 「豊かな心」の育成

- ・自分を、人を大切にする心を育成する。
- ・礼儀正しさを意識し、相手や場に応じた言動ができるようにする。
- ・ルールの意味を理解し、ルールを守って生活できるように・・・あいさつ・ろうか歩行・はき物をそろえる・身だしなみ(ネーム等)
- ・道徳の時間と学校全体で行う道徳教育を充実させ、発信、公開を行い家庭との連携を図る。
- ・あいさつ運動の取り組み等を工夫し、相手を意識したあいさつができる子を育成する。
- ・生徒指導主事、支援加配、校内教育支援センター、保健室、SCが核となり、個に応じた支援が行えるよう、教育相談体制を整備する。
- ・図書館司書や地域のボランティアと連携し、読書の推進を図る。

### (3) 「健やかな体」体力・健康・安全教育の充実

- ・健康に関する知識を身につけ、規則正しい生活習慣を心がける。
- ・体育の授業、体育的活動を充実させ、体を動かす心地よさを味わい体力の向上を図る。
- ・健全な食生活を送る資質能力を育む。
- ・「自分の命は自分で守る」ための知識を身につけ安全行動ができる能力を育む。

### (4) 保護者や地域社会との連携・協力

- ・家庭、地域と連携して、あいさつができる子の育成、規則正しい生活・学習習慣づくり、メディア等のルールづくりの推進を図る。
- ・健康教育推進のための保護者を対象とした外部講師招聘による講座を行う。
- ・学校・学年便り、学校HP、GIGA関連等で学校教育目標や教育活動を積極的に発信する。
- ・地域人材やボランティア等の積極的な活用を図る。
- ・学校評価の充実と情報開示、各種会議の充実を図る。

### (5) 組織的な学校づくりの推進

- ・取組における目標を全教職員で周知し、共通実践の徹底を図る。
- ・学年会を機能させ、共通理解、共通実践、共通行動の周知、実践の精度を向上させる。
- ・複数体制、全職員による指導の充実を図る。

### (6) 安心・安全な学校・学級づくりと危機管理への対応

- ・発達指示的な生徒指導を推進し、誰もが安心できる学校、学級づくりを行う。
- ・不審者対策、アレルギー対応等危機管理体制の職員研修を実施する。
- ・感染症防止対策と学校教育活動の両立、教育環境の整備に努める。

### (7) 教職員の資質向上と働き方改革の推進

- ・新金沢型学校教育モデルに合った指導を実践できるように、研究会や研修会に積極的に参加し新たな情報を共有するとともに、校内研修や学年会を充実させ、日常的に指導技術、教師力の向上に努める。
- ・複雑化、多様化する課題に対応する「チームとしての学校」体制を整備する
- ・学習指導要領の着実な実施を行うために、カリキュラムマネジメントを進め、本校の実情に応じたよりよい方向性を追求する。
- ・働き方改革、業務改善による多忙化改善に向けた方策を主体的に考え、実践する。